

1933
2011
7/1

府職の友

発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/平井 賢治 編集人/小山 智美
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

府職労
第50回平和友好祭
7月22日(金)~24日(日)
長野県・信州安曇野
締め切り間近!

健康管理体制の拡充にむけ 「部会」での検討を回答



9月府議会・11月の府知事選

職員・府民要求の前進めざし全力をあげよう

府職労は6月24日第5回中央委員会を開催し、夏季闘争の到達点と、最終回答に対する態度を確認するとともに、引き続き、副主査制度見直しに係る7月末までの協議、職員の健康管理に係る安全衛生協議会の部会等を設置して協議する、課長級昇任や技能労務職のあり方での協議、介護に係る早出遅出勤務の協議など、今季における到達点に基づき、要求の実現を求めていく取り組みや今後9月府議会、11月に予想される大阪府知事選挙にむけた取り組みの意思統一を行いました。



治体の重要な役割です。橋下知事は、「競争に勝つ」「大企業にもうけてもらう」ことを目的に、関西州・大阪都を実現すると躍起になっています。9月府議会に向けて、府民との共同をさらに強め、①府民職員犠牲の「財政構造改革プラン」撤回、②大阪府解体、住民自治破壊につながる「大阪都構想」反対、③防災拠点にならない咲洲庁舎からの撤退と大手前地区での耐震補強等による本庁舎整備、④「日の丸・君が代」強制条例の廃止と「処分条例」反対などの取り組みに全力をあげるとともに、11月に予想される大阪府知事選挙で強権政治を許さず、安全・安心・府民のくらし優先の府政実現めざし全力をあげましょう。

引き続き「副主査」「健康管理」などで協議

今季の夏季闘争は、東日本大震災と福島第一原発事故の救援復興支援と結んで、府民要求の実現、賃金

・労働条件改善、府民の安全・安心、くらし優先の府政実現をめざし、全力で取り組みを進めてきました。最終回答では、健康管理体制の拡充について「定期健康診断結果の活用、産業医と所属長との更なる連携について安全衛生協議会に部会等を設け検討」など、今後の要求実現の足がかりとなる回答を引き出しました。当局は「検討すべき課題は多い。まずは、所属長が職員の健康状態を把握で

きるようにしたい」としており、引き続き、長時間過密労働の解消、健康診断・人間ドック等の拡充、メンタルヘルス対策やパワハラ防止対策の強化など健康で人間らしく働ける労働条件の改善と健康管理体制の拡充の取り組みを進めます。

府当局は、任用制度の改善要求に対して、われわれの要求である「少数職種を含む主査・課長補佐級の任用制度の見直し・改善は検討課題」と言いながら、最終回答では「人事制度の整備に向け、将来の組織や職制のあり方方を検討。課長級昇任や技能労務職のあり方など、示せるものから意見を伺いたい」などの回答を行いました。これは、われわれの要求には応えず、「財政構造改革プラン」の公務員制度改革で明らかになっている、知事と価値観を共有する職員作り、管理職のポスト管理、2018年の関西州を見据えた大阪府の人員・組織・役割の見直し、現業業務の計画的アウトソーシングを進めようとするものです。府職労は、今後の協議を通じて、引き続き、主査・課長補佐級への昇任制度の改

善、技能労務職員の給与・任用制度の改善実現の取り組みを進めます。

東日本大震災でも明らかになったように、憲法25条に基づき住民の生存権を守るため、基礎自治体を基本にして、府県、国がそれぞれ補完しながら重層的な役割を果たすことこそ地方自治体の重要な役割です。橋下知事は、「競争に勝つ」「大企業にもうけてもらう」ことを目的に、関西州・大阪都を実現すると躍起になっています。9月府議会に向けて、府民との共同をさらに強め、①府民職員犠牲の「財政構造改革プラン」撤回、②大阪府解体、住民自治破壊につながる「大阪都構想」反対、③防災拠点にならない咲洲庁舎からの撤退と大手前地区での耐震補強等による本庁舎整備、④「日の丸・君が代」強制条例の廃止と「処分条例」反対などの取り組みに全力をあげるとともに、11月に予想される大阪府知事選挙で強権政治を許さず、安全・安心・府民のくらし優先の府政実現めざし全力をあげましょう。

安全・安心・府民のくらし優先の府政を

東日本大震災でも明らかになったように、憲法25条に基づき住民の生存権を守るため、基礎自治体を基本にして、府県、国がそれぞれ補完しながら重層的な役割を果たすことこそ地方自治体の重要な役割です。橋下知事は、「競争に勝つ」「大企業にもうけてもらう」ことを目的に、関西州・大阪都を実現すると躍起になっています。9月府議会に向けて、府民との共同をさらに強め、①府民職員犠牲の「財政構造改革プラン」撤回、②大阪府解体、住民自治破壊につながる「大阪都構想」反対、③防災拠点にならない咲洲庁舎からの撤退と大手前地区での耐震補強等による本庁舎整備、④「日の丸・君が代」強制条例の廃止と「処分条例」反対などの取り組みに全力をあげるとともに、11月に予想される大阪府知事選挙で強権政治を許さず、安全・安心・府民のくらし優先の府政実現めざし全力をあげましょう。

夏季闘争終結

- 夏季手当(ボーナス)は条例にもとづき6月30日に支給
1・9ヶ月(新規採用職員は30%)再任用0・975月、今年度より4%カットなし
- 非常勤職員の育児休業取得等に関する改正(6月13日実施)
- 人事制度の整備に向け、将来の組織や職制のあり方方を検討
課長級昇任や技能労務職のあり方など、示せるものから意見を伺いたい
- 職員の健康管理について定期健康診断結果の活用、産業医と所属長との更なる連携について安全衛生協議会の部会を設け検討
- 介護にかかる早出遅出勤務については、府労組連と協議の上、9月実施をめざす
- 放課後児童クラブの送迎のための早出遅出勤務については、開所の時間帯の推移等を見ながら研究
- 不妊症の病気休暇適用については、病気休暇の要件を満たせば取得可能
- 副主査制度見直しに係る研修・資格等は7月末に向けて協議

今季闘争での到達・確認点

遊歩道

α線やβ線のような荷電粒子が分子や原子に衝突すると電離を起し、正及び負のイオン対をつくる作用を利用して測定する方法として電離箱式がある。このような電離が電界中で起れば電流が流れ、電界が強い場合には、二次的な衝突電離を起して放電電流が流れる作用を利用して測定する方法として比例計数管式、ガイガー・ミュラー計数管式がある▼放射線が蛍光体にあたるとうる光を発生する。その光を光電子管で電流に変換して放射線の強さをパルスまたは電流として出力する蛍光作用を利用して測定する方法として、シンチレーション・カウンタがある▼写真乳剤を塗付したフィルムに放射線があたると感光する。フィルムを現像して、黒化度から放射線の有無、放射線の強度などを知ることが出来るフィルムバッチがある▼放射線の測定を行う上で重要なことは、使用する機器が正確(基準)、機器の正しい使い方(規格)、機器を正しく取り扱うことができる高度な技能(人材)が必要とされている。今どき、人をハカルことばかり考えているトップに正確に計ることを学んでもらいたい。